

町政を問う

(旧)溝口町地区の過疎対策特別法の取り組みに地元の意見を！ 八郷地区には、地域拠点となる「公民館の新設」を！



勝部 俊徳

高齢化率			
日光地区	41%	二部地区	40%
溝口地区	33%	八郷地区	31%
大幡地区	26%	幡郷地区	24%
人口減少率 ($\frac{H21}{H17}$) (町勢要覧資料編より)			
日光地区	△ 13人 (△ 2.1%)		
二部地区	△ 32人 (△ 2.5%)		
溝口地区	△ 179人 (△ 5.6%)		
八郷地区	△ 228人 (△ 11.6%)		
大幡地区	△ 15人 (△ 0.7%)		
幡郷地区	+ 53人 (+ 1.7%)		

勝部 平成二十一年度の次の数字は、いくらの見通しとなるか？

- 一. 実質単年度収支
- 二. 歳入歳出決算見込額
- 三. 町税の調定額

町長 実質単年度収支は、約一億二千四百万円の赤字であり、歳入は、約七十五億円の見込みである。また、町税の調定額は、約十四億円となっている。

(旧) 岸本町地域にも「振興策」を！

町長 必要な支援を必要とするところに



勝部 (旧)溝口町地域への「過疎地域自立促進特別措置法」(平成二十二～二十七年)への次の事項への対応は？

- ・実施計画の協議方法、策定方法、その骨格など。

町長 町の総合

勝部 黒字額約一億二千万円と減債基金に約一億円、公共施設整備基金に約三億円、トータル約五億円の余剰金となる。

このことは、少し財政的に「ゆとり」が出てきたと認識してよいか。

町長 一時的には、若干好転したものと認識する。また、町の借入金も着々と返済しつつある。

計画(後期計画)の枠組みの中で、主に建設事業について、過疎債の活用を図りながら計画を樹立していきたい。

町総合計画審議会などで、しっかりと原案を作っていきたい。

勝部 (旧)岸本町地域は、過疎地域の指定がないので、新たな地域振興策の計画は、今のところない。

(旧)岸本町地域の振興策も必要と考えるが、どうか。

町道や防火水槽などは、町が主体的に責任をもって「設置・管理」を！

町長 基本的には、そのように

町長 必要な投資が、この地域にどんなものがあるのか、議論はあると思う。必要な投資を必要とするところに行うということを考えている。

勝部 八郷地区は、平成十七年と二十一年を比べると、二百二十八人の人口減(マイナス十一・六%)であり、二部地区のマイナス二・三%、日光地区のマイナス二・一%よりも相当な減少率である。

町立公民館は、二部・日光・溝口・岸本に各々あるが、八郷地区には公民館が存在しない。

地域活動の拠点としての「八郷公民館の新設」が必要と考えるが、どうか。

教育長 (旧)岸本町は、比較的狭く、町単位で一つの公民館となっている。岸本地区は、一緒にな

って公民館活動をした方がよいということである。と理解している。

勝部 「町道(その他町道)や防火水槽の新設や維持管理に事業費の三十%～四十%の地元負担を町として求めた補助基準となっているが、これらについては、全面的に町として管理していくべきではないか。

町長 基本的には、質問の主旨のとおりと考える。一級、二級町道以外の「その他町道」の延長は、大きいところである。原則論に基づいて町道として管理するとしたならば、公共の福祉の増進に本当にかなうのかどうか、検証してみたい。

防火水槽などについても指摘のとおりであり改めて検討していきたい。